

みんなの ひろば

ふるさと教員
武井 翔 さん (共栄)

『できる』という気持ちを伝えたい



共栄小学校を本校に少人数学級を指導する町独自採用の職員として配置された「ふるさと教員」。4月からそのふるさと教員として雄武町に赴任した武井翔さん(22歳)。留萌市出身の武井さんは、高校までを地元で過ごし、札幌市の大学を卒業後、雄武町で教員生活を送ることになった。「連絡をいただいた教育委員会の方々にはとても感謝しています。インターネットなどで雄武町のことを調べた際に、小規模校教育や山村留

学を行っている学校があることを知りました。大学2年次の時に山村留学を実施している小学校へ実習に行った経験もあったので、すぐに興味を持ち、雄武町に行きたいという思いが強くなりました。教員を目指したきっかけについて「中学生の時に国語の授業を受けている中で、言葉や文章で表現することの技術が自分自身、日々上達している手ごたえを感じました。昨日までできなかったことが今日になってできるようにな

る。そのことに感動を覚えたんです。自分が感じたことができるんだという気持ちを同じように子どもたちに伝えたい。今考えるとそれが教員になろうと思ったきっかけですね」と振り返る。

武井さんは今後の目標について「子どもたちにしっかりとした学力をつけてもらうために授業に力をいれて頑張っていきたいです。ふるさと教員として郷土愛を持ち、自分に自信が持てるような心の育成に少しでも役立つことができればと思っています。勉強だけではなくいろいろな面から、ちょっと前の自分に比べてできるようになった。やればできるんだという気持ちを伝えていきたいですね」と話してくれた。

クローズアップ
まちのひと

フレッシュトーク

教育委員会教育振興課図書業務係 桜井 麻有 さん

本の楽しさを知ってもらえたらうれしい



昨年から図書館の司書として勤務する桜井麻有さん(22歳)。雄武町出身。司書を目指したことについて「小さいころに母や祖母に絵本を読んでもらって本が好きになり、図書館に通うようになりました。小学6年生の時に、将来は図書館で働く人になりたいと思い、高校卒業後、司書の資格を目指し短大に進学しました。勉強する中で現実とのギャップを感じることもありましたが、決心が揺らぐことはありませんでした」と振り返る。

桜井さんの生活はまさに本が中心。「一番長く続いている趣味は読書で、一日に2、3冊読むこともありま

小さな美術館

共栄小学校



中村 駿介くん (6年)



↑「もしもし文字さん (山)」



木村 智哉くん(6年)



↑「もしもし文字さん (日)」



尾田 颯郁くん (5年)



↑「もしもし文字さん (刀)」

わんぱくキッズ

おおきくなったら
～若草保育所～



あべ
しんのすけくん

おすしやさん



なかむら
ももかちゃん

かんごふさん



たかはし
こうのすけくん

ウルトラマン
メビウス